

JLEM News Letter Vol.18

第23回日本語教育方法研究会開催

発表20件、参加者80名
第24回は東京工業大学にて

2004年9月18日(土)、第23回日本語教育方法研究会が開催されました。お世話役を引き受けてくださった松崎寛先生はじめ、広島大学スタッフの皆さまに大変お世話になりました。

また、前日の3月18日夕方、会場設営の後、運営委員会が開催されました。10周年を迎え新たな活動も始動しています。詳細はレターの記事をご覧ください。

なお、次回の研究会は、2005年3月19日(土)東京工業大学において開かれます。みなさまふるってご参加くださいませ。

開催を終えて

松崎 寛
(広島大学)

2004年9月18日(土)、広島市留学生会館ホールで、第23回研究会が開催されました。従来のお会では、会員および当日会員のみ参加の形態をとっていましたが、今回は、とりあえず足を運んでもらえるようにということで、予稿集なしであれば無料で参加できるかたちで実施しました。そのため、広

島という地理的不安要素をはねのけ、なんとか80名ほどの参加者を集めることができました。

ポスター発表は、教材開発、CALL、ビリーフ調査、習得、地域の日本語、発音・漢字・作文・シャドーイングの授業実践報告など、多岐にわたるテーマで20件の発表が行われました。参加者は、活発に意見を交換し、議論を深めました。地域の日本語関係の発表では、教室の悩みを分かちあい、お互い有意義な情報交換をする場面も見られました。終了後、発表して良かったという感想が発表者から数多く寄せられた点、今回も大いに成功していたようです。

浜田麻里氏の講演「日本語学習者の学習環境を考える」は、学界の最先端の話題をわかりやすくパワーポイントにまとめた講演で、参加者からは活発に質問が出ました。

また、今回は原点に立ちかえって「手作りの会」らしさを出そうということで、懇親会は食材を調達して調理し、会費を1000円におさえました。ご協力くださった皆さま、ありがとうございました。

また、前日の委員会も夕食(+ビール)をとりながら行うという形になりました。これはぜひ次回もひきついでほしいと思います。

当日は、担当者松崎の連絡不行き届き、および体調不良などで、みなさまにご迷惑をおかけしましたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。そして色々働いてくださった皆さま、ありがとうございました。

次回開催にあたって

小島 聡
(東京工業大学)

JLEMの研究会の開催場所は二巡目に入っており、既に筑波大学と麗澤大学で二回開催されています。東京工業大学でも我々が事務局をやっている間に二回目を引き受けようということになり、3月19日(土)に開催することになりました。

東京工業大学の岡山キャンパスは交通の便が大変良いところにあります。駅の改札を出るとすぐ目の前に大学の正門があります。また羽田空港からの電車や新幹線で品川駅が利用できるようになりましたので、前回開催した1994年時に比べ、より一層便利になりました。

会場の西9号館は完成してまだ

3年ほどの新しい建物で、良い雰囲気の中で会を行うことができると思っています。多数の発表申し込みと参加をよろしく願います。

運営委員会報告

第23回大会前日、9月17日午後6時より開催地広島で運営委員会を行いました。審議事項は、以下の通りです。

(1) 会則改定について

会則改定WGからの報告をご覧ください。

(2) ホームページ運営について

JLEMのホームページができました。試運転を行っています。2004年9月18日の研究会の様子も掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.jlem.info/>です。

(3) 10周年記念論文誌発刊について

2005年3月の発行を目途に編集中です。どうぞお楽しみに。

(4) 宛先不明者について

印刷物を年に数回お送りしていますが、宛先不明で戻ってくるものが少なくありません。郵便局へは転居届けをされている場合でも、ご転居の際には、ぜひ本会にもご連絡ください。

(5) 運営委員の交代について

長い間、越前谷明子氏、深尾百合子氏が務めてくださった会計を、馬場真知子氏、加藤由香里氏が、担当してくださることになりました。本研究会は、多く

の方が様々な形でお力を出してくださることにより発展してきましたが、中でも、越前谷氏、深尾氏には大変お世話になりました。ありがとうございました。また、今後ともよろしく願います。

(6) 次期開催校について

第24回大会を2005年3月19日(土)に東京工業大学で行うことを決めました。大会実行委員は小島聡氏です。

(事務局 総田はるみ)

会則改定WGより

重要なお知らせ

3月の総会での承認を目指して現行の会則の見直し作業を進めていますが、9月に広島で行われた運営委員会で、会長の選出方法を現在の会員による直接選挙から運営委員会で選出する方式に変更することに決まりました。これに伴い運営委員も、現行の会則では会長が委嘱することになっていますが、会員の中から広く募る方式に変更することになりました。運営委員には春と秋の運営委員会にできるだけ出席していただき、会の活性化に貢献していただきたいと思います。自薦・他薦を問いませんので、運営委員として活躍していただける方の積極的な推薦をお願いします。連絡は、
jlem@ryu.titech.ac.jp
宛をお願いします。

会費に関するお問い合わせ、会費の振込は以下の口座にお願いいたします。

会費を2年間未納の場合は自動的に除名となります。

*ご注意

この口座は電信払込しかご利用いただけません。

名前を先にお書きください

会費は3000円です。

振込先：(郵便局)

記号 10140

番号 69076511

加入者名：

日本語教育方法研究会

なお、会費納入状況についてなどご質問がありましたら、事務局までお問い合わせください。

連絡先：jlem@ryu.titech.ac.jp

・日本語教育方法研究会事務局

東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学留学生センター

電話・FAX 03-5734-3522

e-mail:

jlem@ryu.titech.ac.jp

<http://jlem.info/>

・ニューズレター発行事務局

札幌市北区北8条西8丁目

北海道大学留学生センター

小林由子研究室内

e-mail : koba@isc.hokudai.ac.jp

会費納入について